



令和6年能登半島地震及び
令和6年9月能登半島豪雨に対する
日本下水道事業団の対応について

～発生から1年、現在の支援状況～

令和7年1月



令和6年能登半島地震の災害支援状況

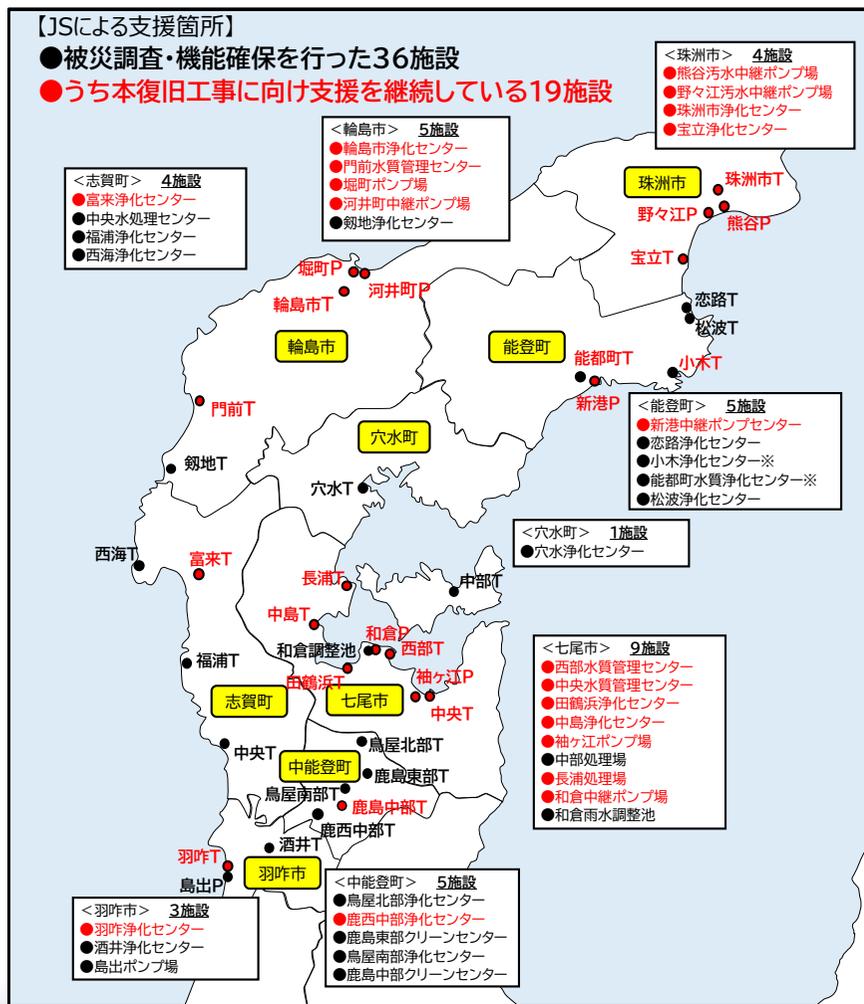
令和6年12月末時点

○地震発災後、要請のあった8市町36施設に対して被災状況の調査や災害査定等のため、**延べ594人のJS職員を被災地へ派遣**。復旧工事の完了に向け、**7市町19施設**で引き続き被災団体への支援を継続。

[JSによる支援箇所]

●被災調査・機能確保を行った36施設

●うち本復旧工事に向け支援を継続している19施設



※災害査定まで支援し、復旧工事は能登町で実施

【JSによる支援箇所】

市町村名	延べ人数
七尾市	117人
輪島市	103人
珠洲市	93人
羽咋市	60人
志賀町	41人
中能登町	42人
穴水町	10人
能登町	47人
石川県庁 (現地対策本部)	80人



これまでの活動支援について①（発災～被災調査）

- 地震発災後、速やかに非常体制を発令し、理事長を本部長とする災害対策本部を本社内に設置。
- 全国のJS職員を被災地へ派遣し、被災状況や処理機能の確保状況等を確認。



先遣調査（羽咋市）



プラント機器の稼働状況のヒアリング（輪島市）



下水処理場のマンホール内部の調査（七尾市）



災害対策本部の様子



これまでの活動支援について②（応急工事～災害査定）

- JSでは被災後の調査のみならず、破損した下水道施設の応急工事の技術的支援、首長等への復旧・支援状況の説明、復旧に必要な事業費の決定（災害査定）まで、一貫した支援を実施。
- 一日も早い復旧に向けて、今後も、復旧工事に向けた様々な支援を継続。



破断したポンプ圧送管の応急復旧（能登町）



首長への復旧方針の説明（珠洲市）



災害査定の様子（中能登町）



災害査定の様子（珠洲市）



これまでの活動支援について③（令和6年9月能登半島豪雨）

○9月21日の大雨特別警報によって、緊急体制を発令。輪島市、珠洲市へ職員を派遣し、浸水被害の調査、応急工事の技術的な助言等の支援を実施。

○浸水による被害を受けた下記の施設については、地震による被害も含め、一体的に復旧工事を実施する予定。

輪島市：門前水質管理センター、河井町中継ポンプ場、堀町ポンプ場

珠洲市：熊谷汚水中継ポンプ場



施設の浸水深の調査（輪島市）



浸水した機器の調査（珠洲市）



応急工事の実施（珠洲市）